

○指定期間4年度目の指定管理者の3項目評価の結果

S評価：2件 A評価：5件 B評価：2件 C評価：1件 評価対象外：0件 合計：10件

3項目評価が Sの施設							
所管局	ページ数 (資料1-4)	施設の名称	指定管理者名	3 項目 評価	利用 状況	満足 度	収支 状況
文化スポーツ 観光局	P9 ～ P30	宮ヶ瀬湖カヌー場	(公財)宮ヶ瀬 ダム周辺振興 財団	S	S	S	A
環境農政局	P57 ～ P63	(三崎漁港) 宮川特別泊 地、宮川一時 停係泊特別泊 地及び宮川環 境整備施設	みうら漁業協 同組合	S	S	A	S

3項目評価が Aの施設							
所管局	ページ数 (資料1-4)	施設の名称	指定管理者名	3 項目 評価	利用 状況	満足 度	収支 状況
政策局	P9 ～ P30	宮ヶ瀬やまな みセンター	(公財)宮ヶ瀬 ダム周辺振興 財団	A	B	S	A

環境農政局	P9 ～ P30	宮ヶ瀬湖集団 施設地区及び 鳥居原園地	(公財)宮ヶ瀬 ダム周辺振興 財団	A	B	S	A	◆利用状況 令和5年度の利用者数は373,330人となり、目標達成率は86.4%でB評価であるものの、前年度より高い評価となった。昨年同様、熱中症警戒アラートによるイベントの中止や外郭団体によるイベント開催がない等の悪条件があったものの、コロナ禍で落ち込んでいた利用者数が回復し始め、ピクニック広場の利用者数が前年度比295.9%、鳥居原園地の利用者数が前年度比132.7%となり、全体の利用者数も前年度比104.2%となった。また、季節に応じたテーマでのイベントや地域活性化のための大型イベントの開催、SNSを活用した情報拡散のキャンペーンを効果的に行い、来場者の増加につなげた。 ◆利用者の満足度 四半期ごとにアンケートを実施し、上位2段階の回答割合が100%となりS評価となった。アンケートの実施にあたっては、施設窓口に設置しているほか、自主的に企画したイベント参加者へ配布しており、前々年度及び前年度と比較し回収数が着実に増加している。 ◆収支状況 コロナ禍で3密回避のため訪れていた利用者数が少なくなり、駐車場利用者及びグラスライダー利用者も減少したことから前年比96.9%の収入となった。収支差額は減少したものの、収支比率は100.96%となり、A評価を維持した。
文化スポーツ 観光局	P31 ～ P40	地球市民かな がわプラザ	(公社)青年海 外協力協会	A	B	S	S	◆利用状況 子どもから大人までを対象にした事業の企画や関連企画の実施、SNS・チラシ等による広報活動に積極的に取り組んだ結果、令和5年度の年間利用者数は395,511人と、昨年度と比較して47,404人(113.6%)増加している。 ◆利用者の満足度 第3四半期に利用者満足度調査(詳細アンケート)を実施し、上位2段階の回答割合が97.6%となったためS評価となった。「接客」や「催し物」に関するアンケートも、それぞれ上位2段階の回答割合が98%を超えており、高い評価を得られている。 ◆収支状況 年間利用者数が回復傾向にあり、利用料金収入は33,927千円(前年度比104.52%)となった。収支差額は48,786千円のプラス(収支比率116.56%)となったため、S評価となった。
環境農政局	P41 ～ P48	21世紀の森	(株)アグサ	A	A	S	B	◆利用状況 パンフレットやチラシの配布、インスタグラムの運営など、広報活動にも取り組むとともに、新型コロナウイルス感染症の影響で数年実施できていなかった「21世紀の森まつり」を開催するなど、イベントによる利用促進にも取り組んだことで、目標達成率は106.3%となり、A評価となった。 ◆利用者の満足度 毎月実施しているアンケートでは、上位2段階の回答割合が、100%となりS評価となった。 ◆収支状況 事業計画に沿った運営を行っていたが、人件費の上昇の影響により、支出額が増加したため、収支比率が99.46%となりB評価となった。
環境農政局	P49 ～ P55	(三崎漁港) 本港特別泊地 及び本港環境 整備施設	スバル興業 (株)・ (株)三浦海 業公社	A	B	A	S	◆利用状況 天候不順や艇の大型化により、ゲストバースの利用は前年度比で利用数マイナス5.8%、利用料金マイナス4.4%となり、駐車場利用数は前年度比で台数マイナス0.3%、利用料金マイナス2.8%であった。結果として、目標達成率は88.9%でありB評価となった。 ◆利用者の満足度 10月にアンケートを実施し、上位2段階の回答割合が85.5%でありA評価となった。利用者の不満は、営業時間や設備に対するものが多いが、職員の対応については、高い評価が得られ、指定管理者の努力が感じられた。 ◆収支状況 収支比率が118.43%となり、S評価となった。利用料金収入は天候や艇の大型化等の影響もあり前年度より減少したものの、経費節減等の継続により支出が減少し、収支差額がプラスの状況を維持している。今後も収支の安定のため、サービスの向上や自主事業の工夫により利用者数の増加に努めることが望まれる。

3項目評価が Bの施設							
所管局	ページ数 (資料1-4)	施設の名称	指定管理者名	3 項 目 評 価	利 用 状 況	満 足 度	収 支 状 況
政策局	P1 ～ P8	相模湖交流センター	アクティオ (株)	B	C	S	S
◆利用状況 今年度の利用者は、前年比116.8%の42,802人と増えたものの、目標達成率は79.0%となったため、C評価となった。集客が見込める地域の学校、町関連の催事による利用が戻りつつあるものの、鉄塔移設工事に伴う騒音・振動対策で多目的ホールを利用できない期間が約5か月あったことが影響した。 また、目標値を定めている多目的ホールとアートギャラリーの利用率も目標値を下回った。多目的ホールでは、自主事業のJAZZ及びクラシックコンサート等を10件と、地域福祉関係催事、地域文化団体催事、学校行事などの利用があり、利用率は前年比102.5%の89.73%（目標値：95%）となった。アートギャラリーでは、自主事業の写真展とホーミングライツ企業協賛によるハイレゾコンサート、『囲碁・将棋の会』と、地元文化協会による写真展、絵画展などの利用があり、利用率は前年比102%の42.07%（目標値：57%）となった。 ◆利用者の満足度 令和5年度に実施した自主事業参加者や施設利用者に対し満足度調査を行ったところ、施設の印象満足度において、上位2段階の回答割合が9割を超えS評価となった。 ◆収支状況 収入では、多目的ホールが利用できない期間があったため、施設利用料収入は前年比782千円の減となったが、原油価格高騰による施設維持費の負担金があり、その他収入が前年比2,276千円の増となった。支出では退職者の引継ぎ期間を3か月設けたこと等による人件費の増が前年比1,177千円、軽喫茶の空調機の修繕や音響の電源ユニットの更新等による修繕費の増が前年比295千円あったものの、全体の収支差額が173千円のプラスとなったため、S評価とした。							
福祉子どもみらい局	P65 ～ P72	愛名やまゆり園	(社福) かながわ共同会	B	C	S	S
◆利用状況 「当事者目線の障がい福祉」の実現に向けた通過型施設として、地域生活移行に取り組んでいるが、実績は2人であった。入所者については、退所と同程度の新規入所があった。 ◆利用者の満足度 園の人権推進委員会を中心に、調査対象部署以外の職員も同席し、公平性を担保しながら実施した。食事や入浴に対する設問においては、好意的な回答が多かったが、地域生活移行に関連した質問の回答からは、施設入所しながらの地域生活の課題も見いだされた。 ◆収支状況 定員に対する利用率は上半期が95.7%、下半期が95.9%であった。昨今の燃料費高騰を受け、利用者支援に必要な支出を除き、光熱水費の節減に努めたが、短期入所の利用がコロナ禍前まで回復せず、最終的な収支は赤字となっている。							

3項目評価が Cの施設							
所管局	ページ数 (資料2-4)	施設の名称	指定管理者名	3 項 目 評 価	利 用 状 況	満 足 度	収 支 状 況
福祉子どもみらい局	P73 ～ P86	厚木精華園	(社福) かながわ共同会	C	C	B	C
◆利用状況 「当事者目線の障がい福祉」の実現に向けた通過型施設として、地域生活移行に取り組んでいるが、実績は0人であった。一方で、コロナ禍で実施できなかった入所見学の再開等により、入所者数は増えている。 ◆利用者の満足度 アンケートの設問はイラストを活用する等の工夫をし、原則、第三者委員の立合いで実施した。アンケート実施の結果、判断が難しいとした利用者の方が全体の3分の1程度おり、設問の設定や想いのくみ取りに関する課題については引き続き対応の検討が必要である。 ◆収支状況 定員に対する利用率は上半期が78.4%、下半期が81.5%であった。昨今の燃料費高騰を受け、利用者支援に必要な支出を除き、光熱水費の節減に努めたこと、コロナ禍で落ち込んでいた短期入所の利用者数が、前年度の3倍となったことから、収支差はプラスとなっている。							